

感染状況・医療提供体制の分析(2月15日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (2月8日時点)	現在の数値 (2月15日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	4993人 (266人)	3169人 (168.8人)	↓	感染状況コメント レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	1022人 (20%)	691人 (22%)	↓	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	1919人	1205人	↓	陽性者は<u>人口10万人当たり169人</u>と減少傾向。季節性インフルエンザ注意報発令中。 感染縮小の兆候があり、保健医療への負荷も改善してきている。しかしながら今後も、免疫の減衰や変異株の置き換えりの状況、人流の増加、社会活動の活発化などを注視しながら、感染状況を見ていく必要がある。基本的な感染防止策の徹底と、オミクロン株対応ワクチンの接種など感染対策の継続を。
		倉敷市保健所	1218人	703人	↓	
		備前保健所	482人	287人	↓	
		備中保健所	510人	330人	↓	
		備北保健所	113人	70人	↓	
		真庭保健所	60人	42人	↓	
		美作保健所	473人	368人	↓	
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	④宿泊療養者数	40人	24人	↓	医療提供体制コメント レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる
		⑤自宅療養者数	4949人	3157人	↓	
		⑥重症者数	5人	9人	↑	